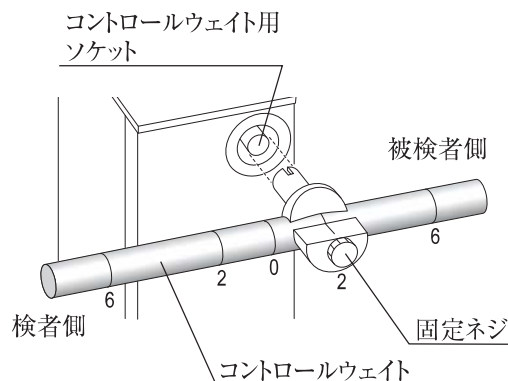


XI. トノメーターの作動確認

定期的に以下の手順により、実際にトノメーターを測定位置にセットし、メジャリングプリズムを取付けて作動確認を行って下さい。

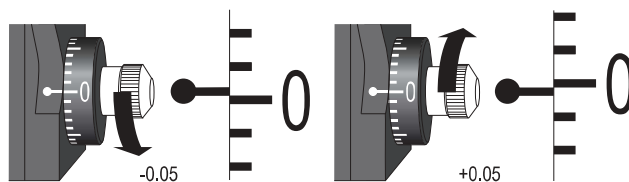
測定値が下記の範囲内に納まらない場合には、P.3「お問い合わせ先」にあります、(株) JFCセールスプラン営業部又は技術部「JFCテクノクラート」へお問い合わせ下さい。



トノメーターAT900

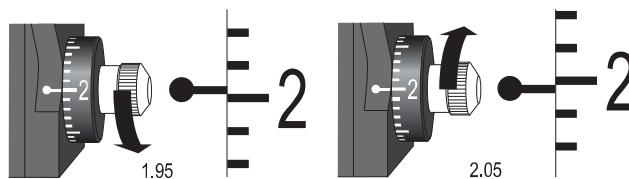
● “0” 位置に於ける作動確認

1. 加圧ノブを回し、“0” 位置に合わせて下さい。
2. メジャリングプリズムを、プリズムホルダーに装着して下さい。この時、加圧アームを軽く押しますと前後に動きます。
3. 加圧ノブを $-0.05g$ (指示線の幅) に合わせます。この時、加圧アームは検者側に傾きます。
4. 同様に、 $+0.05g$ に合わせますと、加圧アームは被検者側に傾きます。
5. つまり、指示線に対し $\pm 0.05g$ の範囲内で加圧アームが前後に動くことを確認して下さい。



● “2g” 位置に於ける作動確認

1. “2g” および “6g” 位置での作動確認には、付属のコントロールウェイトを使用します。コントロールウェイトの中心線は“0”を、次の線は“2g”を、また外側の線は“6g”を各々意味します。
2. コントロールウェイトの固定ネジを回し、“2g” 位置にセットして締め付けます。
3. コントロールウェイトをコントロールウェイト用ソケットに、検者側が長くなるように差し込みます。
4. 加圧ノブを“2g” 位置に合わせ、“0” 位置と同様に、 $+0.05g$ および $-0.05g$ に合わせた時の作動確認を行って下さい。



● “6g” 位置に於ける作動確認

1. コントロールウェイトの固定ネジを回し、“6g” 位置にセットして締め付けます。
2. コントロールウェイトをコントロールウェイト用ソケットに、検者側が長くなるように差し込みます。
3. 加圧ノブを“6g” 位置に合わせ、確認します。この位置では、検者側、被検者側に倒れる確認はスケールの1/2の幅である $5.9 \sim 6.1g$ の範囲であれば良しとします。

